

1 テーマ

豊かな国際性を身につけさせるための
思考力・判断力・表現力の育成
～各教科等における言語活動の充実を通して～

2 基本方針

「豊かな国際性」を身につけさせるために必要な思考力・判断力・表現力を育成するために、どのような言語活動が効果的なのかを実践を通して明らかにする。

3 今年度の重点

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得をめざして
 - わかる授業の創造に取り組む。
 - 教員の指導技術の向上を図る。
 - 毎朝 10 分間の「朝トレーニング」の時間を効果的に活用する。
 - 意欲、学力などの児童生徒の実態の把握と分析を行う。
 - ねらいと評価の一体化、上・中・下位層の子への手立てを意識した授業づくりに努める。
- ② 言語環境の整備
 - 読書習慣の支援と推進を行う。
 - 表現活動を経験させたり例示したりする。
 - 掲示物の工夫をする。
- ③ 各教科等における言語活動の充実 ***重点事項**
 - 各教科の授業および学級での活動等において、言語活動を取り入れる。
 - (1) 体験から感じ取ったことを表現する。
 - (2) 事実を正確に理解し伝達する。
 - (3) 概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。
 - (4) 情報を分析・評価し、論述する。
 - (5) 課題について、構想を立て実践し、評価・改善する。
 - (6) 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。
- ④ 英語力の向上
 - 図工科・音楽科でイメージ教育を導入し、英語活用の機会を増やす。
 - 校外学習や現地校交流等の活動で、英語を積極的に活用させる。
 - 朝の会や帰りの会などの時間を活用して、英語力向上への取り組みを行う。